

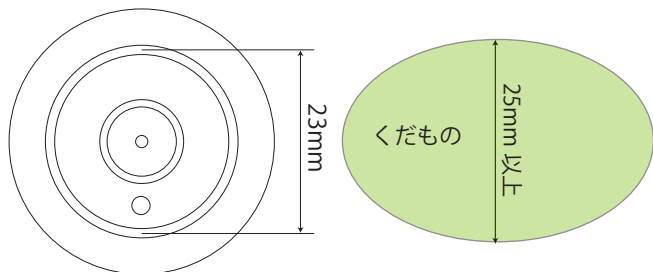
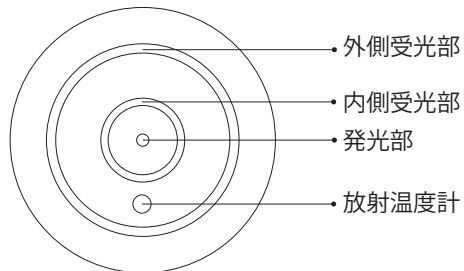
シャインマスカット測定時の注意事項



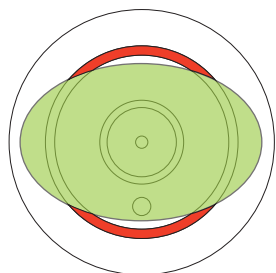
N-1 が糖度を測定する仕組み

N-1 が果物の糖度を測定するには、中心の「発光部」から光を放ち、果物の中で散乱した光を「内側受光部」と「外側受光部」でキャッチして、計算する事によって果物の糖度を推定しています。

N-1 ヘッドの構造



N-1 の「外側受光部」の直径はおよそ 23mm です。この為、果物の短いほうの幅がそれよりも短いと果物の中を通った光を上手く受光できず、正しい糖度の測定ができません。

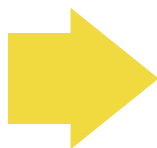


左の図の赤色部分、果物に覆われていない「外側受光部」の面積が大きくなればなるほど、正しい測定結果を得られなくなります。できるだけ外側受光部の面積を全てカバーする大きさの果物で糖度の測定を行ってください。

N-1 の値と破壊型糖度計の値を比べてください

シャインマスカットはその形と大きさから、N-1 糖度計での測定誤差が起こりやすい品目です。まず、N-1 で糖度差の大きいシャインマスカットの粒をいくつか選び、破壊して実際の糖度を測定してください。そして N-1 の測定で糖度の低いものは実糖度も低く、高いものは実糖度も高く出ることを確認してください。下図の様な結果になっていれば測定ができています。

粒	N-1 測定値 (brix%)	破壊 測定値 (brix%)
A	10	9
B	15	14
C	20	19



破壊測定の数値に対して、N-1 の値が追従しており測定出来ていることが分かる。

正確な糖度を得るために

一粒ごとに複数回、複数箇所の測定をして、それらの値の平均を結果として考えると、粒の形や大きさを原因とした誤差を小さくすることができます。